

**「お金のこと何もわからないままフリーランスになっちゃいましたが税金で損しない方法を教えてください!」 大河内 薫、若林 杏樹 著 サンクチュアリ出版 2018年11月発行**

本書は、税理士で自身の youtube チャンネルもお持ちの大河内先生と、漫画家の若林先生がタッグを組まれて書かれたマンガで、サラリーマンが独立してフリーランスになったら、「会社が面倒を見てくれていた」税金や社会保険料まわりの処理はどうなり、市役所（町村役場）と税務署に怒られないためには何をしていなければならないのか？そもそもフリーランス以前に、サラリーマンでも、増税だなんだと言われる「税金と社会保険料の仕組み」はどうなっているの？というのを、面白おかしく、でも真面目に書かれたもので、文字だけの本に抵抗がある人も、軽く読むことができます。

ワイドショーなどで見聞きしたことがある人もいらっしゃるでしょう、芸能界でも私企業でも言われる魔法の(?)言葉「経費で落とせばいい!」とは具体的にはどのようなことなのか？そもそも「経費」ってなに？ということもわかります。

本校でも、特に上級学年では起業家精神の醸成を目的とした科目が開設されておりますし、卒業した折には起業したい!という人もいるでしょう。そうでなくても800人近くの学生が在籍する学校ですから、学生生活の合間に、趣味のハンドメイドや youtube などでお小遣い以上の収入を得ている方もいるかもしれません。そういう方は、既に税金や社会保険料の話とは切っても切れない関係にあります。

日本の教育カリキュラムは、往々にしてお金周りの授業は開設されないか、開設されても非常に少ないため、特に理系の学校ではこういったものに触れる機会は少ないと思います。

しかし、雇用の流動化や副業推進が叫ばれるようになり、本校を卒業して上場企業の技術者や学者になりたいと考えている方も、一度就職した後、副業をしたり、会社を独立する未来が待っている場合もあります。その時、税金等の仕組みを少しかじっておくだけでも、やらなければならないことの見通しがずいぶんと良くなります。

親から小遣いをもらって生活しているので税金なんかまだまだ遠い話、と思わずに、卒業するまでの間に一度読んでみていただくと幸いです。ご家庭が自営業、会社経営の方は、親の苦勞もわかるかもしれません。